

7月14日のウクライナ情報

安齋育郎

① ロシア国内を攻撃するための自作自演(2024年7月9日)



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1810486134570717691?s=09>

② キーウ小児病院ミサイル被害受け安保理緊急会合 ロシアは反論(2024年7月10日)

ロシア軍がウクライナ各地に大規模なミサイル攻撃を行い、首都キーウの小児病院などに大きな被害が出たことを受けて、国連安全保障理事会で緊急会合が開かれました。欧米などからは民間施設を狙った国際人道法違反だと非難する意見が相次ぎましたが、安保理の議長国を務めるロシアは小児病院に落下したのはウクライナ軍のミサイルだと反論しました。

今月ロシアが議長を務めている安保理で9日、フランスなどの要請でウクライナ情勢をめぐる緊急会合が開かれました。

はじめにキーウで大きな被害を受けた小児病院の医師がオンラインで当時の状況について報告し「子どもも大人も悲鳴をあげ恐怖と痛みで泣き叫び、まるで地獄だった。今回の攻撃は医療を必要とする子どもたちに長期的で深刻な影響を及ぼすだろう」と述べました。

このあと欧米など各国からは、病院や学校などの民間施設への攻撃は国際人道法違反だとして強く非難する意見が相次ぎました。

このうちフランスのドゥビエール国連大使は「ロシアは意図的に住宅地や医療施設を標的にしている。ロシアが責任を問われる新たな戦争犯罪だ」と指摘しました。

またアメリカのトーマスグリーンフィールド国連大使は、安保理議長国のロシアが原因で緊急会合が

開かれたことに不快感を示した上で「ロシアは白昼堂々と小児病院を攻撃し子どもたちを傷つけた。口にするだけで背筋も凍る」と非難しました。

これに対してロシアのネベンジャ国連大使は、ロシア軍は軍事施設のみを攻撃の標的にしていて、小児病院に落下したのはコントロールを失ったウクライナ軍の防空ミサイルだと反論しました。

ウクライナの検事総長 ICC に調査求める

ロシア軍がウクライナの首都キーウなどに行った大規模なミサイル攻撃についてウクライナの検事総長は「人道に対する犯罪だ」として ICC = 国際刑事裁判所に対して調査するよう求めたことを明らかにしました。

ロシア軍が 8 日にウクライナ各地に行った大規模なミサイル攻撃では、首都キーウの小児病院などに大きな被害が出て、ウクライナの警察当局は 9 日、これまでに 42 人が死亡し、190 人がけがをしたと発表しました。

ウクライナのコスティン検事総長は 9 日、自身の SNS で ICC = 国際刑事裁判所のカーン主任検察官とオンラインで話したことを明らかにした上で今回のロシア軍の攻撃について「市民に対する戦争犯罪というだけでなく、人道に対する犯罪だ」として ICC に調査を求めたことを明らかにしました。

ウクライナの捜査当局が収集した資料や証拠は ICC に送られるとしています。

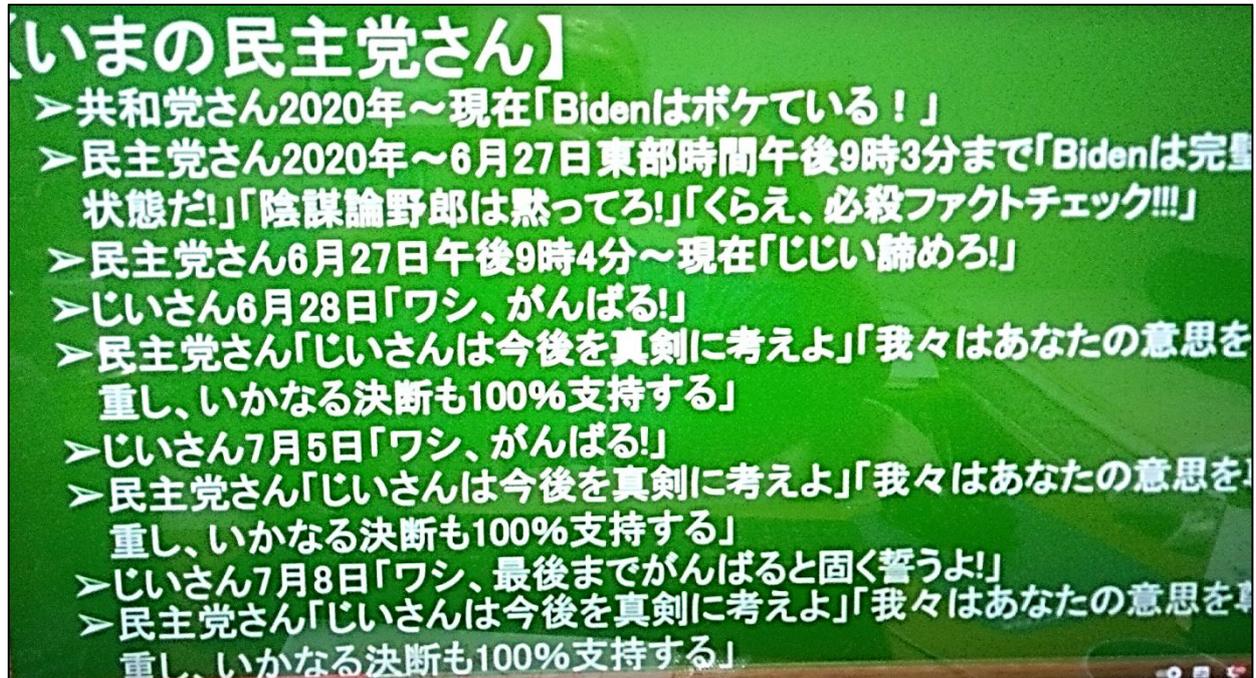
一方、ウクライナのゼレンスキー大統領は滞在先のアメリカのワシントンから動画でメッセージを発信し「NATO サミットが始まる。より多くの防空システムの供与を働きかけていて、実現すると確信している。より多くの航空機の供与も働きかけている。F16 戦闘機だ」と述べ、軍事支援を強化する方針が打ち出されることに期待を示しました。



<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240710/k10014507131000.html?s=09>

③7.11 "民主"党の"民主"主義を守る壮絶な戦い(2024年7月12日)

<https://youtu.be/qKOsgK4s6gw>



<https://www.youtube.com/watch?v=qKOsgK4s6gw>

④【独自】NATO 事務総長単独インタビュー「ロシアが勝利すれば世界が危険に」 | TBS NEWS DIG(2024年7月12日)

<https://youtu.be/G07VSzDr4mg>



<https://mail.yahoo.co.jp/u/pc/f/message/AB3MY2QAAbzDZpDitwXj0GNM6bY>

⑤米バイデン大統領 選挙戦撤退を否定 “トランプ副大統領”と言い間違いも(ANN ニュース、2024年7月12日)

<https://youtu.be/x5C5CfT6OHo>



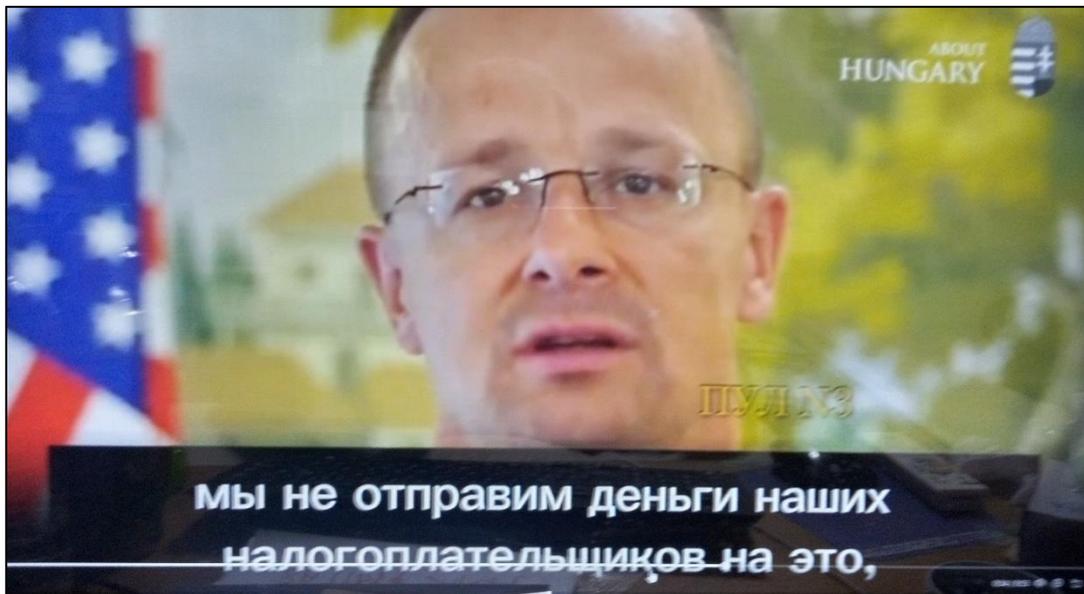
<https://www.youtube.com/watch?v=x5C5CfT6OHo>

⑥ ハンガリーのペテル・シヤルト外相、ウクライナへの NATO ミッションへの参加拒否について(2024年7月10日)

「NATO 首脳会議は、NATO がウクライナを支援するミッションを立ち上げ、武器の設置や軍事訓練を調整することを決定する見通し。私たちの立場は明確です。現事務総長とは合意していますし、将来の事務総長とも、ハンガリーはウクライナを支援するこの NATO ミッションに参加しないと約束しています。

このミッションのために兵士を派遣せず、納税者の税金を投入せず、領土を提供せず、ウクライナの武装を拒否し続けます。この立場によって、ハンガリーの安全とハンガリー国民の安全を守ることができるのです」

<https://x.com/i/status/1811042330365022452>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1811042330365022452?s=09>

⑦フランスの政治学者カロリーヌ・ギャラクテロス、フランスのウクライナ関与に疑問の声(2024年7月12日)

なぜフランスはロシアと戦争をする必要があるのか？ ロシアはどのようにフランスを脅かしているのか？ ウクライナの運命がフランスにとってどのように重要なのか？ 事実、パワーバランスは変化している。西側諸国はもはや主人ではない。考え得る、想像し得るあらゆる幻想にしがみつき、米国への従属を示せば示すほど、地政学的に言えば、われわれは弱体化する。 **安齋注:ズバリ!**

<https://x.com/i/status/1811594982685573198>



<https://x.com/Z58633894/status/1811594982685573198?s=09>

⑧【バイデン大統領】言い間違い重ねる プレスセンターは騒然…頭を抱える記者の姿も(2024年7月12日)

<https://youtu.be/LwqCmyEG5o>



<https://www.youtube.com/watch?v=LwqCmyEG5o>

⑨NATO 首脳会議の文書は、西側諸国が和平支持に反対していることを示している - クレムリン(2024年7月11日)

ドミトリー・ペスコフ報道官は「北大西洋同盟は対決のための道具であり、安全保障提供のための道

具ではない」と付け加えた。

モスクワ、7月11日。/TASS/です。最近アメリカ合州国で行われた NATO 首脳会議で署名された文書は、西側が対話を支持しておらず、同盟自体が対立の道具であることを示していると、ロシアのドミトリー・ペスコフ大統領報道官は木曜日に述べた。

ペスコフ報道官は「欧州と米国の敵対勢力は対話に賛成していない」と指摘した。

クレムリンの報道官は、「NATO 首脳会議で署名された文書から判断すると、彼らは平和の支持者ではない」と述べ、「北大西洋同盟は対立のための道具であり、安全保障のための道具ではない」と付け加えた。

ペスコフ報道官はまた、インドは紛争解決に関する対話を開始する用意があるというロシアの立場を全面的に共有していると指摘した。

「インドは平和を提唱し、インドは対話を支持している。それは、私たちの(状況に対する)ビジョンと、私たちのアプローチに完全に準拠しています。我々はまた、和平を支持しており、対話に賛成している」とペスコフ報道官は付け加えた。

今週初め、インドのナレンドラ・モディ首相は、ロシアの首都モスクワを 2 日間公式訪問した。ロシアのウラジーミル・プーチン大統領と、最初はノボ・オガリョヴォのロシア大統領官邸で、次にクレムリンで実質的な会談を行った。



<https://tass.com/politics/1815683>

⑩【単独インタビュー】ロシア大使 小児病院攻撃について“反論” 日本と「対話の可能性ない」「敵対的な態度の撤去を」と主張(日テレ・ニュース、2024年7月13日)

https://youtu.be/y_FpqU2n5jE



https://www.youtube.com/watch?v=y_FpqU2n5jE